21世紀初頭における観光振興方策について（答申フローチャート）

観光をめぐる諸事情

経済・社会環境の変化

「まち」の停滞
- 産業構造の変化等により、「まち」が停滞。

ＩＴ化
- 一斉かつ広範にあらゆる情報の送受信が可能となる。

少子高齢化
- 労働力需給の不均衡など、社会のあり方が大きく変貌。

環境意識の高まり
- 大量生産・大量消費社会の行きづまり。

グローバル化
- 世界的な大交流時代が到来。

国民のライフスタイルの変化
- 「個の時代」が到来し、個の共通理念や共通感覚が求められる。

生活レベルの向上
- ゆとりや快適さが一層重要視される。
- 時間の過ごし方の多様化

現状及び課題

- 「まち」の再活性化ニーズの増大（均一化した「まち」の表情への反省）
→観光によるまちづくりが必要
- 観光分野におけるＩＴ化ニーズ増大
→ＩＴに対応した環境整備や新たなシステムの高度化が必要
- 高齢者等が「気軽」に旅行できる環境整備ニーズの高まり
- 環境保全・向上の必要性の増大
- 訪日外国人旅行者数の伸び悩み
- 観光のもつ魅力の相対的低下
- 国民生活の変化に対応した観光産業の変革の遅れ
- 長期滞在型旅行の伸び悩み
- 国民の日常的、基本的マナーやホスピタリティ意識の不十分さ

観光の意義

- ゆとりとうるおいのある生活に寄与
- 地域の歴史や文化を学ぶ機会の提供
- 地域住民の誇りと生きがいの基盤の形成
- 地域活性化に寄与
- 大きな経済効果
- 国際相互理解の増進・国際平和等に貢献

観光振興を国づくりの柱に

基本的視点

- 誰もが「気軽」に楽しめる観光の振興
- 住民と旅人とが互いに交流しあう観光の振興
- 自然・社会環境と共生する観光の振興

具体的施策の方向

外国人来訪促進（倍増）

外国人旅行者訪日促進のための戦略的取組み
- ○外客の多様なニーズへの対応
（個人向け情報提供サービスの充実）
- ○様々な連携強化
（国際連携誘客活動、フィルムコミッション設立支援、入国手続きの簡素化）
- ○外客受入れ体制整備
（ボランティアガイドの充実、外国語表示の案内板等の整備）

国内観光振興

観光まちづくりの推進（個性ある「まち」の表情へ）
- ○個性ある「観光まちづくり」理念の確立と普及
- ○そぞろ歩きのできる個性的な「観光まちづくり」の推進（観光地のＴＤＭ）
- ○効果的な「観光まちづくり」のための市町村広域連携等の推進

観光分野でのＩＴの積極的活用
- ○ＩＴ活用のための環境整備（インフラ整備、利用者保護）

高齢者等が旅行しやすい環境づくり
- ○観光バリアフリー化の推進等

観光産業の高度化・多様化
- ○国民ニーズに適合した「企業改革」
- ○観光産業の社会経済への貢献の大きさに関する積極的ＰＲとその組織的推進
- ○優秀な人材確保・育成のための総合的取組み
- ○新しいツーリズムへの対応

国民の意識喚起
- ○国民全体の意識喚起
- ○観光客の意識喚起
- ○住民の意識喚起

連続休暇の拡大・普及促進と長期滞在型旅行の普及
- ○長期滞在型旅行環境の整備
- ○長期滞在型旅行商品の開発等

外国旅行促進

触れあいと活力に満ちた観光交流大国日本の実現

- 国民の豊かな生活実現
- 国際相互理解の増進
- 経済波及効果
- 地域活性化